

「住宅5年基準金利」連動型証書貸付をご利用のお客様へのご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、お客様にご利用いただいております証書貸付は、金利見直しの際に「住宅5年基準金利」に連動する変動金利型となっておりますが、「住宅5年基準金利」の算出基礎である「おかやま信金プライムレート¹」の算出に使用しております「LIBOR²」の公表が2021年12月末をもって恒久的に停止される方向性となっております。

つきましては、LIBORの公表停止以降、従前どおりに「住宅5年基準金利」を算出することが困難となることから、お客様とのご契約に基づきまして、LIBORの公表停止以降に算出する「住宅5年基準金利」の算出方法は、「おかやま信金新プライムレート³」を基礎として、適用金利が同水準に保たれるよう、2021年12月末を基準とする「おかやま信金プライムレート¹」と「おかやま信金新プライムレート³」の利率差を「調整幅」(以後、この「調整幅」自体は確定し、変動しません。)として付加したものを算出基礎とする、以下の方法に変更させていただきたく予定といたしておりますので、事前にご案内申し上げます。

算出方法の変更後も、お客様の適用金利(貸出利率)は、新たな算出方法による「住宅5年基準金利」に連動した変動金利型となりますので、約定に変更はなく、お客様によるお手続き等は発生いたしません。

ご不明な点等がございましたら、以下のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

今後とも、おかやま信用金庫をご愛顧いただきますよう何卒よろしくようお願い申し上げます。

謹白

【算出方法】

< 現在(変更前) >

お客様の適用金利(貸出利率) = 「住宅5年基準金利」 + 「スプレッド」

「おかやま信金プライムレート¹ - 6ヵ月 LIBOR² + 5年 SWAP⁴」

< 変更後 >

お客様の適用金利(貸出利率) = 「住宅5年基準金利」 + 「スプレッド」

「おかやま信金新プライムレート³ + 調整幅 - 6ヵ月 TIBOR + 5年 SWAP⁴」

【ご契約における該当箇所】

(変動金利に関する特約書からの抜粋(第3条第2項ただし書き))

ただし、金融情勢の変化等により基準金利と定めた金利を廃止した場合は貴金庫が相当と認める方法によるものとします。

【用語説明】

1：おかやま信金プライムレート

「当金庫の調達コスト率」と「市場金利」から組成するというコンセプトで2011年4月1日以前に使用していた変動基準金利のことです。ここで使用している「市場金利」が「LIBOR」となっております。「住宅5年基準金利」は「おかやま信金プライムレート」に対して算出方法に記載の調整を加えて算出しております。

2：LIBOR(ライボー：London Interbank Offered Rate)

LIBORとは、ロンドン市場での金融取引における銀行間取引金利(ロンドン市場銀行間取引金利)のことです。指定された複数の銀行が提示した利率のうち、必要な調整を施した平均値がLIBORとして公表され、様々な金融取引における参照指標金利として利用されております。なお、LIBORと同様の銀行間取引の指標金利としては、東京市場での銀行間取引金利であるTIBOR(タイボー：Tokyo Interbank Offered Rate)等がございます。

3：おかやま信金新プライムレート

「当金庫の調達コスト率」と「市場金利」から組成するという「おかやま信金プライムレート」のコンセプトはそのままに、一層精緻な方法により2011年4月1日以降算出を開始した変動基準金利のことです。ここで使用している「市場金利」は「LIBOR」ではなく「TIBOR」(前述 2をご参照ください)を使用しております。2011年4月1日以降にご融資している半年毎金利変動の証書貸付は、原則として「おかやま信金新プライムレート」に連動しており、現在の当金庫の変動金利証書貸付の主流となっております。

4：5年SWAP(スワップ：Swap Rate)

5年SWAPとは、LIBORやTIBORと交換可能な5年間の固定金利として利用されている市場金利で、「住宅5年基準金利」で使用する「5年SWAP」は、現在、LIBORと交換可能なSwap Rateを参照しておりますが、LIBORの公表停止以降に算出する「住宅5年基準金利」で使用する「5年SWAP」では、TIBORと交換可能なSwap Rateを参照いたします。

以上

【お問い合わせ先】

おかやま信用金庫 経営企画部 (担当：岡部・横山)

電話番号：086-223-7130(祝日を除く月～金曜日 9:00～17:00)

電子メール：kikaku@okayama.shinkin.jp